

おれんじニュース

No367

2020年12月

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
甕岩	5
オルレ島原	6
網場金比羅岳	7
天山遭難	8
グレート・ヒマラヤ	10
おれんじカレンダー	12

紅葉に彩られる長崎金刀比羅神社

2020年	12月	2021/1月	時間	場所
専門部会	8(火)	12(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会	23(水)	27(水)	19:00~21:00	公民館

12月



月例山行案内

部	自然保護部	山行部	技術研修部	ひまわり部
月/日(曜)	12/6(日)	12/13(日)	12/20(日)	12/25(金)
山名(行事)	巨石パーク ～金敷城山	琴ノ尾岳、仙吾岳、 丸田岳、碑ノ岳	多良岳 一の宮岳	萱瀬の大杉 琴平岳(大村)
地 図	広滝、佐賀北部	長崎東北部、大村	多良岳	多良岳、武留路山
集合場所	諫早駅西口 7:00 西諫早駅 7:10	諫早駅西口 8:20 西諫早駅 8:24	西諫早駅 8:00	諫早駅西口 9:20 西諫早駅 9:00
難易度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1.5/技術1.5	体力1/技術1
帰着時間	16:00	17:00	16:00	14:00
歩行時間	4.0h	4.0h	4.5h	2.0h
交通手段	マイクロバス	JR	マイカー	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温泉	なし	なし	なし	なし
参加費	3,000	実費	800	800
申込期限	12/1	12/7	12/15	12/23
集 約	中野	田村	山下ちずこ	田中
備 考	巨石パークを含めての山歩きは古代のロマンを感じさせてくれる。	タンタン岩からの眺めが素晴らしい。ロープワークもします。	納山です。金泉寺で一年の安全登山を感謝します。	大杉を見に行く。琴平展望台は大村市内が一望できる。

2021年1月

部	自然保護部	山行部	ひまわり部	技術研修部
月/日(曜)	1/17(日)	1/24(日)	1/29(金)	1/31(日)
山名(行事)	岩屋山～稲佐山	龍が岳～念珠岳(天草)	猿葉山	鶴見岳
地 図	長崎	姫浦、高戸、棚底	肥前小浜	別府西部
集合場所	西諫早駅 JR7:23 発 (7:10 集合厳守)	諫早駅西口 7:00 西諫早駅 6:50	諫早駅西口 9:20 西諫早駅 9:00	諫早駅西口 6:10 西諫早駅 6:30
難易度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1.5/技術1
帰着時間	16:00	19:00	14:00	19:00
歩行時間	6.0h	5.0h	2.0h	5.0h
交通手段	JR & バス	マイクロ	マイカー	マイクロ
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温泉	無し	無し	無し	無し
参加費	実費(約2,000)	5,000	700	5,000
申込期限	1/10	1/16	1/25	1/24
集 約	中野	田村	田中	山下ちずこ
備 考	長崎名山の岩屋山から稲佐山を縦走。更に今後続きがありますよ。	観海アルプス最高頂から展望を楽しみながら縦走する。	1300本の鳥居が並ぶ猿葉稲荷と山頂からの展望。	運が良ければ霧氷に出会うかも。

事務局より

◇ 新入会員紹介

福田清人さん（12月1日より正式に会員）

九州内で近場の由布岳、黒髪山、大船山等を登っていたが、一人歩きは危険で楽しくないので、昔お世話になったオレンジHCに入会することにしました。どうぞよろしくお願ひします！



◇ 岩場の歩き方講習

11月14日(土)県連登山学校主催の「岩場の安全な歩き方」講習が稲佐山で開催されました。全参加者26名中10名がオレンジHCでした。ロープワークの基礎を午前中に行い午後より岩場の歩き方(登り方になっていたが・・・)の実践を2時間ほど実施しました。

初心者、中級者、上級者用のコースを用意してそれぞれ各自挑戦しましたが、オレンジHC会員の技術の高さと意欲に驚かされました。日頃の訓練のたまものです。今回参加されなかった会員の方は、是非次回参加してください。自分の身を守ること、仲間を救助できる基礎技術を身に付けたいものです。



権現岩



S女史



K氏

県連より

◇ 山筋ゴーゴー体操

日時：12月4日(金) 13時～15時 会場：カブトガニアリーナ1F 参加費無料
服装は体操が出来る服装、運動シューズ(体育館用) *「山筋ゴーゴー」パンフ持参
申込み：各会の担当者へ

◇ 黒木梅園の掃除

日時：12月6日(日) 9時現地集合、長靴、ゴム手、昼食を用意(雨天中止)参加自由

・本の紹介

(11月の登山時報)



小松由佳：登山家・カメラマン

・K2に24歳の若さでリーダーとして後輩と2人で登頂しさらに下山時8200mの高所でビバークして生還をした。今は山からとうざかり、カメラマンとして活躍中。労山の第17回登山研究集会で記念講演をしていただいた。山で培った強靱な精神力で結婚、子育てをしながら、シリア内戦の取材を続けている。戦争を知らない世代は想像すらできない現実が書かれている。戦争難民の考えや思いを知ってほしい。

全国連盟事務局長 川嶋高志

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	10月31日	ロープタンカ	ロープハーネス	カウンターラッペル	背負い
場所	運動公園				
参加数	7名				

火曜岩ハイキング

月日	10/20 佐賀御船山	10/27 佐世保隠居岳	11/3 遠見山. 殿隠山	11/10 松尾岳	11/17 日岳～風観岳
参加	10名	9名	8名	8名	11名
行程	10:36 武雄図書館P～11:19 御船梅林～12:00 御船山～13:30 武雄図書館	11:19 ウォーカーズパーク～11:55 西岳～12:30 隠居岳～13:50 ウォーカーズパーク	10:44 登山口～11:30 遠見山1～12:26 隠居岳～14:40 観音寺～15:30 登山口	9:36 上座登山口～10:29 松尾岳～11:23 上座登山口	9:35 日岳～11:10 風観岳～13:40 日岳
感想	低山ながら迫力あり登りがいもあるが滑りやすいので注意。	ウォーカーズパークまでの道が不明瞭だが登山道は歩きやすい。	倒木が多かった。展望も少なかったが、適度なアップダウンあり。	天気はよかったが、頂上からの展望はなかった。	多くの登山道は殆ど農道が落ち葉で覆われた道。起伏少なし。
備考	御船山 	頂上からの展望よし 	急登もある 	雑木林の中 	途中で見つけたカスの農たたくさんかかっていた 

水曜登山

月日	10/21 九千部岳	10/28 雲仙	11/4 吾妻岳	11/11 吾妻岳	11/18 長崎金比羅山
参加	6名	8名	6名	8名	7名
行程	9:11 田代原登山口～11:10 九千部岳～12:05 東尾根分岐～13:50 田代原登山口	9:05 池之原登山口～9:45 仁田峠～10:50 妙見～11:30 国見～13:40 普賢岳	9:05 仁田登山口～岩尾～11:06 展望台～11:50 観音～12:40 吾妻岳～ぐり石～15:30 登山口	9:20 田代原登山口～10:15 吾妻岳～10:40 展望台～11:57 吾妻岳～14:20 田代原登山口	9:50 立山公園P～10:10 金刀比羅神社～11:05 金比羅山～天狗山～12:00 金比羅山～12:40 立山公園P
感想	東尾根分岐からの下りで迷ったので苦労した。	このコースの縦走は体力を要す。紅葉は楽しめた。	初めてのルート展望台からの眺望は絶景登りが良かった。	展望台は3か所あり吾妻岳～鳥甲への下山は急斜面で厳しい	金刀比羅神社の紅葉が満開で素晴らしかった。
備考	九千部頂上 	普賢岳 	展望台から 	険しい下り 	

2020.10.18 甕岩 (362.7m)

参加者

坂口 白石 高森 山下
今坂 工藤 中野 吉川
鎗水 松岡 豊嶋 川原
田中 静 塚 田村 浦



行程

西駅 8:00 集合～緑地駐車場 8:30 発
～茂木港 9:00 着～茂木港 9:20 発～観音堂 9:40
～北浦登山口 10:20～ピーク(362.7m)
～甕岩(神社)12:00～(昼食休憩 12:30 迄)
～展望台 12:40 着～展望台 13:00 発
～甕岩 13:15～茂木港 15:00 着
～一口香本店 15:15～諫早 16:20 着



美男カズラの実



クコの花

ちょっと感想

- * 緩やかだろうと勝手に思ったら中々ピークまで手ごわかったけど「甕岩」まで辿り着いた。
- * 枇杷やミカンの木が沢山あり視界が広がると遠くに雲仙岳も見え素晴らしい景色だった。362m だが海拔 3m なので、登り甲斐がありました。
- * ゆるやかな登りとヤブコギの下り青い海、青い空に爽やかな風、楽しい山行でした。

登山概要

登山口から頂上まで緩やかな登り？ 途中茂木方面の岩場で雲仙方面が望める。展望台からは 360 度視界が広がり雲仙、天草、長崎市内の山々を見渡すことができる。甕岩は板状節理の安山岩で、もち米をふかすセイロ(甕)に似ていることに由来する。

10/25 (日)

オルレ島原



鎗水 堀 松岡 白石 西 豊島 大原 金丸 畔崎 大久保 高田 川原
渡辺 中須賀 田村 下釜 田中 山口 福岡 高森 今坂 中野 富永(外)



行程

諫早駅集合(7:50) 列車発 8:50-島原港駅 9:27~外港公園 9:50~秩父が浦公園 10:10~われん川 11:05~ふかえ桜パーク 11:40(昼食)12:10~吉祥白天橋 12:30~仁田第一公園 13:40~ひょうたん池公園 14:40~島原港駅 15:04-諫早駅 16:19

概要

日本で一番新しい山“平成新山”を眺めながら歩くジオパーク(火山)をテーマとしたコース。オルレであるのでカンセ、リボンを頼りに歩く。われん川手前までは海岸線を有明海を眺めながら歩き、その後水無川導流堤にそって媚山平成新山を前方に見ながらだらかなコースを進む。仁田第一公園を過ぎて山中に入る。少々足場が悪く坂道も出てくるが時間的には40分ほどである。最後はひょうたん池公園で人員確認をして島原港駅へとむかった。



ちょっと一言

- *思ったより歩きごたえがありいい汗をかくことができました。
- *初めて島鉄にのって鉄道旅気分になりました。
- *秋晴れの空の下を歩き、海、山、豊富な湧水などを見て自然と大地は大きな災害をもたらすこともあるけど大いなる恵みも感じました。
- *いつもは雲仙側から島原を眺めることが多いので平成新山を目の前に感じながら噴火当時のことも思い出しながら10,5キロを楽しく歩きました。
- *平成新山、眉山の美しさを堪能、また知らなかった島原の再発見ができてよかった。

10/30 (金) 網場金比羅岳：不動山



参加者：福岡 高田 下釜 松岡 山口 金丸 乾 山下 高森 田中 中須賀 大久保 田村

行程

諫早駅裏 9:00～西諫早駅 9:18～金比羅岳(P)10:05

～日見峠と日吉自然の家分岐 10:55～(分岐から日見峠を往復 30分) 不動山と日吉自然の家分岐

11:40～自然の家 12:05(昼食 25分) 不動山 13:13～金比羅岳 13:50～駐車場 14:15～西諫早駅 15:20



登山概要

網場の町を過ぎ、海岸にそって車を走らせると老人ホームが見えてくる、金比羅岳の入り口は近い、右手に四角いタンクがありその横の細い車道を行くと5分程で駐車場着、トイレ有り。草原を通り抜け、林道を出て日見峠を目指す、途中に日見峠、日吉自然の家の真新しい道標あり、ここから日見峠を往復する。自然の家を目指し、山道に入り斜面を登ると尾根に出た。金比羅岳日吉自然の家の道標あり、ここから自然の家を往復してから不動山に行く、眺望良好な広場有。金比羅岳へ斜面を下る。頂上に天望台があるが木が邪魔して展望が聞きかない。絶好の天気ですひんやりとした風も気持ち良く、草花も綺麗で、山道も歩きやすく、楽しい一日でした。

ちょっと感想

*5年ぶり秋の網場金比羅岳、君はいくつ見た「はぎ、おばな～」？「女郎花」は見損ない、残念だったが、よくうれた「むべ」をゲットできて満足満足

*70年前に生まれた日見峠に60年ぶりに行き記憶は薄れてますが、何か懐かしい気持ちになりました。穏やかな整備された道は秋を感じました。



自然のムベ



のどごし生ムベ

天山遭難(遭難者の父親)

川原 慶紀 記

天山山脈は中央アジアに在って、パミール高原からカザフ、キルギス、中国へと連なる大山脈である。東西 2,500km、南北 400km に及ぶ。最高峰はボベータ峰で 7,439m の高峰でありながら、平たく丸みを帯びて、あまり目立たない山容でゆったりした感じの山である。

その近くに在って高さこそ及ばないが、鋭く天を刺す山は「ハン・テングリ峰」7,010m で、中央アジアの遊牧民から「精霊の王」を意味する、ハン・テングリと呼ばれ崇められている。

高さではボベータ峰に及ばないものの、屹立するその姿、急峻に聳え何者をも寄せ付けない、姿・風貌・鋭く天に向かって立つ姿は他を圧している。

そしてある年の夏、各地の山仲間達に誘われて、この山に登る登山隊に私も参加する事になった。

登山期間は凡そ 30 日。新潟空港からハバロフスク、カザフと航空機を乗り継いでこの山の BC に着き、山の全容を見上げた時、体力・気力・技術を厳しく要求される思いで緊張感に圧倒され、戦慄を覚えた。山頂に立っても尚、油断すれば下りにも生命を失う危険が十分あるだろう。



出発は幅 3km の氷河を超える所から始まった。急峻に聳えるだけに、時々降り出す雪は間断なく雪崩となって落下し、その雪煙はどこ迄も雲となって飛んで行き登山者をすっぽりと包み込み、息をすれば肺の中まで凍りつくようだ。

垂直に近い登りがあり、抜け石に肝を冷やし、時に落石も間近を掠めて飛んで来る。

C1、C2 はテントで、C3(アタックキャンプ)は雪と雪の層がずれて出来る大きな隙間シュルンドを利用した。

6,120m の支尾根のピークを超えて 5,800m のコル(鞍部)へ下った所のシュルンドが C3 である。山頂 7,010m のアタックは此処から始まる。朝 5 時に出て、一日中日の射さない北面の急な登り、あまりにも寒く、手足の冷えも普通ではない、兎に角どこか日の射す所があるだろうと、陽光を求めて登り続けるうちに、私は皆を離して日本隊の一番前に出ていた。そして私の前に行く一人のロシア人隊員が「先に行け」と道を譲ろうとする。彼は苦しそうに顔を雪面に着けるようにして空気を取り込もうとしていた。私は「いいから貴方先に行きなさい」と手ぶりを交えて言ったが、結局私が先に出た。私が山頂に着いて小一時間ほどして日本隊 5 名が山頂に着いた。私を含め 6 名が初めて 7,000m を超える山頂に立ったのである。

登り終えて、その日 C3 で一夜を過ごした次の日、悲しい事故は最後の下りで起きたのである。コルの C3 から支尾根の 6,120m のピークに登り返し、皆で記念写真を撮り下山を開始した。ルート工作で張られたロープを伝って、一人一人一定の間隔を空けて下って行った。一人の隊員

の前後の者の姿は殆ど確認できない距離を取っていた。ラストにいる隊長が、皆が下って行った直後、前後して下っていたロシア隊員から「日本人が落ちた」と言う報せを受けた。

落ちたのは南沢隊員らしい。直接の原因を目撃した者は無く、下降中エイトカンとサポートのカラビナの掛け替えの時の掛け損ないで有ろうと推測された。

落ちたにしても何処かで停止して、時間はかかっても上がって来るだろうと期待したが、願いは虚しく彼は戻ってくることは無かった。

次の日捜索隊が編成された。体力に余裕のあるものを選び、私もその中の一人となる。

日本人 4 名、ロシア人 5 名の捜索隊は BC より 3km の氷河を渡り、落下地点から垂直に落ちたであろう地点へ。

雪に残る一筋の跡を目で辿るうち、圧され、乱れた雪の有様が有り、微量の血痕が見られ、間もなくロシア隊員のゾンデ棒に反応が有り、遺体となって発見された。

頭部の損傷は酷く、手足にも六か所の骨折が有った。

ロシア隊の外科医グレゴリーさんがハンカチ様の布で頭を包み遺体の処置をし、ロシア隊員の手でロープ担架が作られ、パワフルなロシア隊員の手によって氷河を運ばれ ABC へ。リーダーの中山さんは東京の全国連盟へ、そして長野県の南沢家への連絡の為、ヘリでカザフ共和国の首都アルマ・アタへ飛んだ。本隊は、次の日氷河上の ABC から草原のカルカラの BC へ ヘリで移動。

次の日アルマ・アタからハバロフスクへ到着、更に次の日、午後 2 時頃新潟空港へ帰着し、間もなく空港の 2 階レストランを借り切って、全隊員 6 名と遭難者の遺族、父親以下、おじさん、兄弟、従弟など 6 名が対面することになった。

始めに登山隊のリーダーから、遭難の状況が詳細に説明され、「、、南沢君を失ったことは痛恨の極みでございます」と締めくくって深く頭を下げた時、直ぐに親族のおじさんと思われる方が、納得できないと言う思いをあらわに抗議された。「皆さんはこうして此処に無事に帰って居られるでは在りませんか、我が家の方の真次だけがどうして帰れなかったのですか」ときつく責められた。

その時、父親の恒英さんは「まあ、まあ」と両手を広げて、親族の皆を静められて、「登山隊の皆様には折角の登山の中で、うちの倅が事故を起こして迷惑をかけてしまいました、本当に申し訳ない事です。その上に遺体の捜索迄して頂き、倅が帰ることが出来ます。感謝申し上げます。本人も好きな山での事であり、致し方無い事だと思います。登山隊の皆様には大変お疲れでも御座いませう。まずはゆっくり休まれ、疲れを癒して下さい」と冷静な表情で、静かにしっかりした声で言われ、深く頭を下げられた。父親、恒英さんは小柄で痩せた体つきの方であった。

遺族の側も、登山隊の側も黙って暫くの間、頭を下げたままであった。

私にはこの時、父親の悲しく、辛い気持ちが、言いようも無く強く感じられた。

私はその日、新潟に一泊し、次の日我が家へ向かった。



(2021 年 1 月号に続く)

グレート・ヒマラヤ・トレイル アッパールート 1,700Km

山口 千絵子氏講演記録

ここから2016年、Part2となります。

私達は昨年の続きでカグベニへ戻りこれからドルパに入りますが、その前哨戦としてムスタンへトレッキングに行く事にしました。ムスタンはGHTのルートには入っていませんが、28年前に漸く外国人に入域を許可されたネパール領の自治王国として2008年迄存続していました。此処を外すのは惜しかったので。スペシャルパーミットが要ります。ムスタンはチベット高原に一層近づき、色彩の王国ですが、今日は割愛します。飛行機ならKTMからジョムソン迄ひとつ飛びですが私はKTMからベニ、ジョムソンとバスを乗り継ぎました。

カリガンダキと言う川の渡渉です。チェビさんと2人で500ルピーで渡して貰いました。まだモンスーンが明けていません。

ムスタントレッキングを10日間で終え、KTMから後発のポーターさんとカグベニで落ち合い、いよいよアッパードルパへ出発します。

Part2 エリアの難しさは、食糧とケロシン調達、無人地帯の通過に伴うルートの分かりにくさです。GHTとトレイルと名付られてはいますが、北米のJMTの様にトレイルとしてサンクチュアリの様に保全されているわけではありません。



2016.09.16(金)晴

今夜の幕地は標高3,900mのコブ状台地です。川喜多隊の「西北ネパール学術探検隊」から60年近く経ち、サンダ村へ車道が拓かれかけていました。あれから3年も経っているので、今はもう車やバイクが走りトレッキング道としてはアンナプルナ・サーキットと同じ運命を辿っているのかも知れません。車輛が濛々と砂塵を上げる横をトレッカーが歩くのは辛いだけです。

右写真はサンダ村の裏山。タシ・カンかと思ったのですが、土地の人の呼び名でジャルセイ・カンという山だそうです。過去に日本人も登りに来たそうです。6,200m位です。

タシ・カンには私は参加していませんが福岡県連で以前Ⅲ峰に登った実績があります。





山羊の一隊 ジェンベシ・ラ峠(5,500m)

2016. 09. 19(月)晴 2℃

ジェンベシ・ラと言う 5,550m の峠の上から、1 団が 300 ~500 頭から成るヤギの一隊。中国から仕入れポカラ迄歩きダサイン用です。



トゥクチェ・ピーク (6,920m)

右の写真はジェンベシ・ラのパストップからの眺めです。右にトゥクチェ・ピーク (6,920m)、奥にダウラギリ I、II。オールタシカンを眺めてここで 8 千 m の巨峰に背を向けアッパー・ドルパに入ります。世界の 8 千 m 14 座のうち、ネパールに在る 8 座全てを仰ぐ事が出来ました。ここから先は冰雪の高峰はなく、黒々とした山脈が続きます。

2016. 09. 21(水)



チャルカ・ボート村の仏門

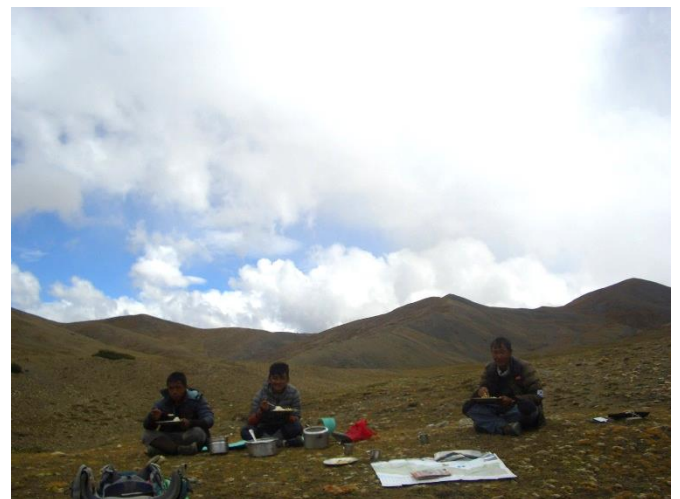
チャルカ・ボート。川喜多二郎さんの表記ではツアルカ村とされていますが、川喜多隊がベースを置いた村がここです。これはカンニと言う仏門です。私達はここで 1 日レストしました。

夜、酔ったヤギ商人がやって来て「ジャパニ、写真を撮れだの、嫁になるか」など絡み、歌い踊りました。カムパ族でしょうか？ 長髪ポニーテールで赤い髪飾り、トルコ石のイヤリングをしています。

2016. 09. 21(木) 曇/雨

5,030m のモーラ峠を越えて草上の昼食です。この後はティンジェと言う村迄、パンジャン・コーラ、パンジャン河に沿って北上します。この日の夜はパンジャン・コーラとディクン・コーラの合流点で幕営しました。寒さの余り焚き木が無いのでヤク糞を集めて燃やしました。

良い草しか食べていないからヤク糞は汚いことなどないメディスンだと、チェビさん。





おれんじカレンダー

12月			2021年1月		
1	火	火曜岩ハイキング	1	金	新年御館山参拝
2	水	水曜登山	2	土	
3	木		3	日	
4	金		4	月	
5	土		5	火	
6	日	金敷城山～巨石パーク(自然保護部)	6	水	
7	月		7	木	
8	火	火曜岩ハイキング、 専門部会(西公民)	8	金	
9	水	水曜登山	9	土	
10	木		10	日	
11	金		11	月	
12	土		12	火	火曜岩ハイキング、 専門部会(西公民)
13	日	琴ノ尾岳、仙吾岳、丸田岳(山行部)	13	水	水曜登山
14	月		14	木	
15	火	火曜岩ハイキング	15	金	
16	水	水曜登山	16	土	
17	木		17	日	岩屋山～稲佐山(自然保護部)
18	金		18	月	
19	土		19	火	火曜岩ハイキング
20	日	多良岳、一宮岳(技研部)	20	水	水曜登山
21	月		21	木	
22	火	火曜岩ハイキング	22	金	
23	水	水曜登山、 全体集会(西諫早公民館)	23	土	
24	木		24	日	龍が岳～念珠岳(天草)(山行部)
25	金	萱瀬の大杉、琴平岳(ひまわり部)	25	月	
26	土	コンパニオンレスキュー	26	火	火曜岩ハイキング
27	日		27	水	水曜登山、 全体集会(西諫早公民館)
28	月		28	木	
29	火		29	金	猿葉山(ひまわり部)
30	水		30	土	コンパニオンレスキュー
31	木		31	日	鶴見岳(技研部)

*火曜岩ハイキング：9:00、コンパニオンレスキュー：9:30 西諫早駅集合 川原顧問所掌

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	中須賀 孝正
編集委員	鎗水律夫、福岡正廣、松岡正樹、工藤学、林孝子 中野美津子、田中静香、高森陽子、高田啓子
発行年月日	2020/11/25
郵便振込口座	ゆうちょ銀行 17650 30444651 オレンジハイキングクラブ
ホームページ	http://orangehikingclub.com